

横手高定時制青雲館、災害訓練 避難所開設の手順確認

生徒や地域住民200人参加



地域住民を避難所に誘導する参加者

約200人が参加し、災害発生時の対応を確認した。

午後2時50分ごろ、県南部で震度7の地震が発生したとの想定。生徒は、支援物資を運ぶ「食料物資班」、段ボール箱で居住スペースを設置する「施設管理班」など8班に分かれ、体育館に避難してきた地域住民を案内した。

避難する際、高齢者の支援を行う「避難者管理班」は、足の不自由な住民役を車椅子や担架に乗せて体育館まで誘導した。佐々木梓君（2年）は「誘導の手順などを知る良い機会。実際の災害時には速やかに安全に誘導したい」と話した。

横手市の横手高校定時制過

程青雲館（古関秀行校長、1

14人）は26日、同校体育館や地域住民、横手消防署員ら

（加藤慶一郎）